

2018年神奈川県
公立高校入試

学力検査・生徒感想集 STEP



ステップ中3生が学力検査に挑戦☆

ステップ仙人の予言！

5科目平均は
大きく下がる！



記述問題は少なめ。しかし英語以外は4科目とも難度UP！

英語

- ◆よし！入試の始まりだ！と気合いを入れて臨んだのに、リスニングがやけにゆっくりで、何だか気合いを削がれてしまった。
- ◆リスニングは速すぎず、遅すぎず。聞き取りやすかった。
- ◆緊張するだろうなって思ってたけど、「いつもどおり！」って自分に言い聞かせたら、落ち着いてリスニングを聞くことができた！
- ◆1時間目はすごく緊張して、マークシートを塗るところが、ガタガタでした。
- ◆リスニングは心臓の音であまり集中できなかった。
- ◆リスニングの初めはいい感じで「キタキタキター」って思ってた調子に乗ってたら、後半を聞き逃した…。問題数が少ないので配点大きいなあ。
- ◆長文は長いけど、並び替えが模試と同じで、ニヤけた。
- ◆英語はいつも解いている問題の方が難しかった。
- ◆直前に見ていた教材の単語がテストに出ていて、すごくラッキーでした！

- ◆得意な並び替えの配点が高くなっていてラッキー！
- ◆最後の長文がおもしろかったです。「ためになるなー」と思いました。
- ◆夏休みから目をつけていた「traditional」が出てよかった。
- ◆終了間際。あっ！答え違う。がーん。チャイム鳴っちゃった。
- ◆英語は簡単で「よっしゃこの調子でいけー」と思っていたら、その後難しい教科が続いてきつかった。

教材研究部より

リスニングの配点が19点から21点になり比重が増しました。英文記述はイラストを参考に1問だけでしたが、助動詞+受け身の疑問文を作るという難問で、正答率は低くなりそうです。読解の英文は少し長くなりましたが、本文内容一致の問題が、正しい組み合わせを選び形式になり、答えやすくなりました。並び替えの配点が上がったものの、単語や文法、資料読み取りは標準的な出題でしたので、平均点は少し上がるかもしれません。

国語

- ◆ここから急に難しくなったので、残りの科目に影響したなあ。
- ◆途中から書く音が消えて急に教室が静かになったので、みんな解き終わったのかと思ったら、難しかっただけで。小説、論説ともに超大作。
- ◆小説が昔のことで入っていきなかった。来年はもっとおもしろいのにしてあげてください。恋愛系とか(笑)。
- ◆選択肢がどれも似ていたのが切りづらかった。登場人物が多すぎる…。
- ◆「『苦衷』って何だよ…」と思った。明治時代モノの小説やめてー。
- ◆苦手な哲学の話だったので落ち込みながら解いていたけど、全部合ってた！
- ◆聞こえてくる周りのペンの音に惑わされる。焦ってしまった。
- ◆とにかく小説が長い！読むだけでけっこう時間がとられる。
- ◆古文がさっぱりわからない！ 何かの呪文に見えた。でもなんか、たまたま合ってた！
- ◆記述が少ない分、選択肢がかなーんーんーり難しくなっていた。

- ◆古文の文章と問題が別のページで、ペラペラめくりながら解くのがやりにくかった。
- ◆最後の問題が、定番のBさん・Cさん・Dさんじゃなく、焦った。
- ◆小説の「英」って人が、男だと思っていたら女だった。
- ◆テスト後、目の前で泣いている人がいた。自分も「もうダメかな」と思った…。
- ◆残り5分なのに6字で探す問題の答えが見つからなくて心臓バクバクしたけど、残り3分で本文を読み返したら見つかったの、とりあえず気持ちをリセット！

教材研究部より

大問の構成は例年通りでした。大きな変化として、論説文の条件作文がなくなりましたが、古文も含め、読解問題は例年より難度が上がりました。選択肢は二行に渡る長い一文のものが八割を占め、本文内容との正誤がわかりにくいものが多くありました。また、論説文の書き抜きの問題は時間がかかったのではないのでしょうか。問五の作文も出題傾向が変わり、字数が少ないだけに内容をまとめるのが難しくなっています。

数学

- ◆計算問題が選択式でびっくり。計算問題もマークシートで笑っちゃった。
- ◆難しく「うーっ」ってなったし、証明もなんかいつもと違うなって思った。
- ◆難しく「どうせみんなできないわ」と思い、落ち着いてやった。
- ◆頭が真っ白になってしまい、あまり覚えてないけれど、数学のあと、安心して椅子から立ち上がれなくなっている人がいました。
- ◆思ったより緊張はしなかったけど、難しく心臓が止まるかと思った。
- ◆めんどくさい計算があった。精神的にまいった。あと10分ください…。
- ◆面積比の問題では、比を簡単にすれば正解だった…。
- ◆廊下で「数学90点いってますよーに！」って言う人がいて、あごが外れそうになった。
- ◆問題用紙を見て、一瞬、「(ミスプリで)証明の答えが印刷されている！」と思った。
- ◆楽しみにしていた証明が、部分証明だったので少しがっかり。自分で書く方がよかった。
- ◆最後まで粘ったら解けた問題があった。あのとき、あきらめなくてよかった！

- ◆終わった後の休み時間に心の中で「ヨッシャ！」と何度も叫び、気持ちをリフレッシュ。
- ◆数学の後、隣の人が友だちと答え合わせをしてうなだれていた。それを見て「答え合わせは絶対にしない」と心に誓った。
- ◆「2分考えても分からなかったら飛ばす」戦法で解いた。
- ◆確率の問題、なんでぐるぐる回るの！！
- ◆数学のダメージで弁当の味が感じられなかった。

教材研究部より

昨年度と異なり、応用力を見る問題はすべて記述形式となったため、勘で難問を正解することが難しくなりました。問3(A)は、 $\triangle FDE$ が二等辺三角形であることに加えて、 $\triangle AED$ の $\triangle HGD$ にも気づく必要があり、複合的な知識が問われました。問5の確率も条件を理解するのに少し時間がかかったかもしれません。問7では証明が部分記述となり、求角の問題が6年ぶりに復活しました。昨年よりも実力差が付き、平均点も下がります。

理科

- ◆理科が始まる前に高校の先生が「疲れているかもしれないけど、がんばって！」と言ってくれて、優しかったです。
- ◆「選ぶ問題だからどうにかなるだろう」と思っていたら、どうにもならない問題が多かった。
- ◆メスシリンダーの画像が見にくくて、「絵にして！」と思った。
- ◆問1は難しかった。問2からペースがつかめて、いつも通りにできた。
- ◆地学で気圧の変化のグラフを選択するのが難しかった。
- ◆緊張したらトイレに行きたくなった…。問題よりもトイレに行くタイミングを考えてました。
- ◆今まで難しい問題をこれでもか！ってくらい解いてきたので、「まあこれぐらいだろうな」というカンジでやりました！
- ◆フツーにいつも通りだった(つまり難しかった)。
- ◆昨年度より比較的簡単だったらしいけど、私にとっては安定して難しかったです。
- ◆直前模試と同じくらいだと感じた。問題数が少なかった。

- ◆難しかったけど、模試と同じような問題が出て心の中で「うふふ」って思った。
- ◆マニアックな知識を要求された。でも記述があまりなかったのはありがたい。
- ◆思ったより難しかった。泣きそうです。記述、甘くつけてくれなかな〜。
- ◆問8の資料は、勘違いして読んでしまうとドミノ倒しのようにいってしまうので、スゴイ怖い問題でした。
- ◆「あと少し！」ってところでチャイムが鳴ってくやしい。

教材研究部より

記述問題は1問に減りましたが、6択の問題や完答で正解となる問題が増えました。問1から問4までの小問集合は、1つの問題の中で多くの内容を問われているものや、一歩踏み込んだ考え方が必要なものが数問出題されました。問5からは、昨年に引き続き、理科の知識をもとにして、与えられた情報を整理したり読みとったりしなければならぬ問題でした。全体的に難度は少し上がり、昨年の入試よりも平均点は低くなりそうです。

社会

- ◆社会はとて難しかったので、最後でよかった！
- ◆はりきりすぎて、一問目からいきなり間違っちゃった。くやしい！
- ◆難しいし、答えが重なるし、心が折れそう。義政なんて人、歴史にいたっけ？
- ◆ぬり絵みたいなのは結局出なかった。がんばって練習したのに…。
- ◆問題中の写真にあった「らくだ」と「アルパカ」に癒された♪
- ◆社会の時間になって、みんなのため息と貧乏ゆすりが増えてきた。
- ◆きわどいところを突いてきたイメージ。ひねった問題ばかりで、息つくヒマが無かった。
- ◆五街道が出るなんて思わなかった。
- ◆社会の時間中に「この1問で合否が変わるのかな…」と考えたら途端に怖くなったので、マイナス思考をすぐにストップ！
- ◆選択で2択まで削れても、そこからが大変だった。
- ◆記述の量が減っていて、少し時間に余裕持てた。

- ◆歴史の出来事の並び替えが、選択肢の中からあてはまるものを全て選んで、それをさらに並び替えるので、ちょっとわからなかった。
- ◆時代と文化を一致させるところを、もっとやっておけばよかったなと思いました。
- ◆年号の並び替えが今までと少し違った。解答に自信が持てない。
- ◆「金閣と銀閣どっちかなー」と悩んで、修学旅行のときを必死に思い出しました。
- ◆よくわからなかったけど難しいことはわかった。「みんなできないんだろうな」と思った。

教材研究部より

長文がなくなるなど文章記述の分量が激減したものの、問題数が昨年より増加し、地理・歴史・公民ともに密度の濃い問題の連続で、かつてない難しさでした。歴史では、あてはまるものを全て選んで並び替える新しい形式が多くみられました。また、フィリピンにおけるキリスト教の宗派や、ベトナムにおける経済体制など、これまでにない細かい知識が問われるとともに、各分野の融合問題が多く、総合的な思考力・応用力が試されました。

全体の感想や当日の学力検査当日の

- ◆得意教科と苦手教科の得点が逆転してしまった！
- ◆全部の科目で記述の問題が少なかったので「楽かな」と思ったけど、内容を理解するのに時間がかかり、大変でした。
- ◆解答用紙が模試と同じ過ぎて笑ってしまいました。
- ◆ドキドキすぎてポケットに入れていたチョコが溶けちゃった。
- ◆終了5分前のアナウンスが突然で「ビクッ」ってなって机が動いちゃって、ペンとか落とす人がいた(笑)。
- ◆お弁当に親からのうれしいメッセージが入っていて和んだ。
- ◆最後に消しカスをまとめて手のひらにのっけてたら、先生に「えらいね」って言われた！ 床に捨てずにゴミ箱に入れたら好感度アップかも(笑)。

- ◆日曜講習で見たことある人がいっぱいいて、安心した。
- ◆エアコンの風が当たる席で、何度も問題用紙がめくられて困った。
- ◆お昼ごはんの時間が静かすぎて、「最後の晩餐」みたいだった。
- ◆ポケットティッシュを2つ持って行ったが、カバーを外して机の上に出すように指示されたので、むき出しのティッシュがこぼれて邪魔になるという…。
- ◆「机の中に何も入っていないか確認してください」と言われたので手を突っ込んだら、ホコリまみれだった。
- ◆問題形式を変えるのはいいけど事前に告知してください(泣)。
- ◆特色をがんばる！ 面接でとりかえす！
- ◆自己採点后は倒れそうになったが、本番中は楽しめた！

ステップ中3生のみなさんへお願いします。

合格発表日の2月27日(火)は、スクールで開示得点の報告と誤答分析に協力してください。後輩の貴重な資料になるので、ぜひ協力してください。スクールで卒業記念品を用意して待っています！